

事業名	道路改築事業		路河川名等	(国)148号		
事業毎の通番	2	市町村名	白馬村	箇所名(ふりがな)	白馬北(はくばきた)	
事業目的	(国)148号は長野県大町市と新潟県糸魚川市を結ぶ幹線道路であり、長野県と日本海を結ぶ重要な輸送ルートとなっているが、白馬北地区では近年、大型車の横転等による死亡事故等が多発している。 事故発生に伴い、応急対策として視線誘導等の対策を講じているが、線形改良等の恒久対策を求める要望は高く、早期対応が必要となっている。このため、当該曲線区間付近における道路線形の改善により、安全な道路環境の確保を図るものである。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり (暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	長野県強靱化計画、長野県地域防災計画(第1次緊急輸送路)					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 : 7,800台/日					
着手年度	平成29年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	1.4	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=900m W=6.5(11.5)m			480,000	264,000 194,400 21,600	
年度事業内容(主な工種)	測量設計 一式 用地補償 一式			80,000 44,000	32,400 3,600	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 11億円 第1次緊急輸送路				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興				
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : なし ○交通結節点アクセス : 北陸自動車道 糸魚川IC アクセス ○観光地アクセス : 観光地に通じる道路(白馬山麓、柵池高原) ○地域の活性化 : 白馬村と小谷村を連絡する道路、大北地域と北陸地域の物流を担う路線			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 長野県強靱化計画、長野県地域防災計画(第1次緊急輸送路) 雨中工区:しあわせ信州創造プラン(整備促進) ○緊急輸送路の路線指定 : 緊急輸送路(1次) ○地域指定 : 特別豪雪地帯、積雪地域			評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.4 ○事業期間 : 7年(H29~H35) ○代替案の検討 : ルート比較検討を実施 ○他事業との連携 : あり(国)148号 小谷村 雨中工区)			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H25~H27 死亡事故1件、物損事故15件 ○危険箇所対策 : 崩落実績あり(H26) ○歩道整備 : 再整備 ○道路構造 : 緩和曲線なし、最急勾配 6%			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知 ○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある(国道148号整備促進期同盟会) ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : なし			評価	B
	部意見	事業の必要性、重要性が高いため、平成29年度から新規事業化した	行政改革課意見	現道は線形不良、急勾配で事故が多発しており、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	○ A

【位置図】	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
【平面図】			
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)148号は長野県大町市を起点として新潟県糸魚川市に至る主要な幹線道路であり、長野県と日本海を結ぶ重要な輸送ルートとなっている。また、白馬山麓や柵池高原等への観光道路でもある。しかし、白馬地区では近年、大型車の横転等による死亡事故等が多発している。このため、道路線形の改善により、安全で円滑な道路環境の確保が求められている。		
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	(国)148号整備促進期同盟会 長野県要望(H26.7.24)、高田河川国道事務所要望(H26.10.6)及び北陸地方整備局要望(H26.10.6)を実施。		
③事業説明等の経緯	調査開始にあたり、その内容は地権者へ説明済である。		
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	雨中工区:しあわせ信州創造プラン(整備促進) 長野県強靱化計画、長野県地域防災計画(第1次緊急輸送路) 地域高規格道路(松本糸魚川連絡道路)と同等の道路規格で計画		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	盛土部の法面保護工は、植生工を適用し緑化を図る。		
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により長野県大町市と新潟県糸魚川市を繋ぐことによる道路の信頼性の向上、災害時の緊急輸送機能の確保が図られ、交通の円滑化、安全な通行が確保されることにより周辺観光地の活性化も期待される。		
⑦その他	ルート比較検討によりコスト削減に努めている。	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 43' 15" 東経:E 137° 52' 53"

事業概要説明図表

事業周辺環境